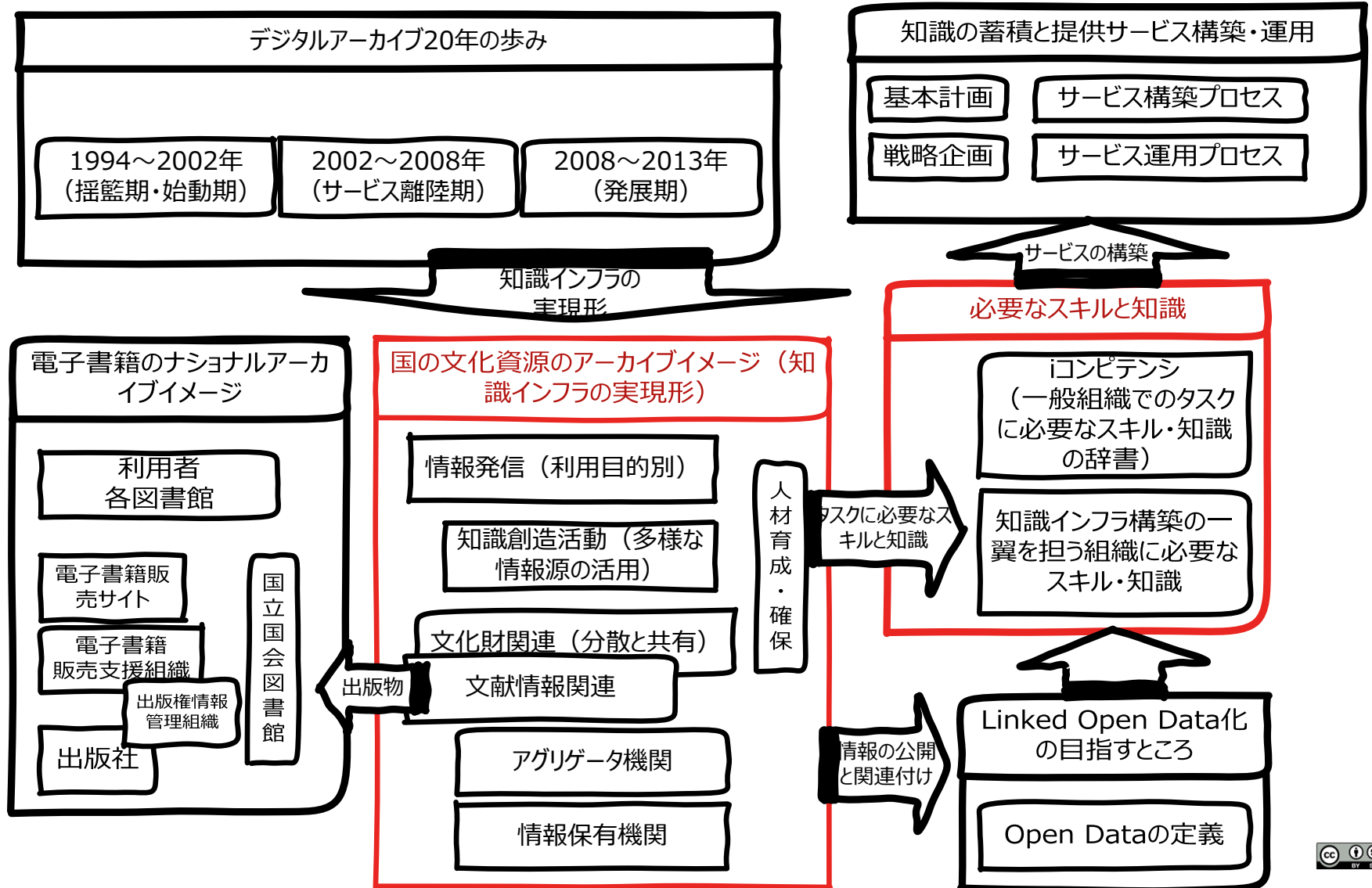
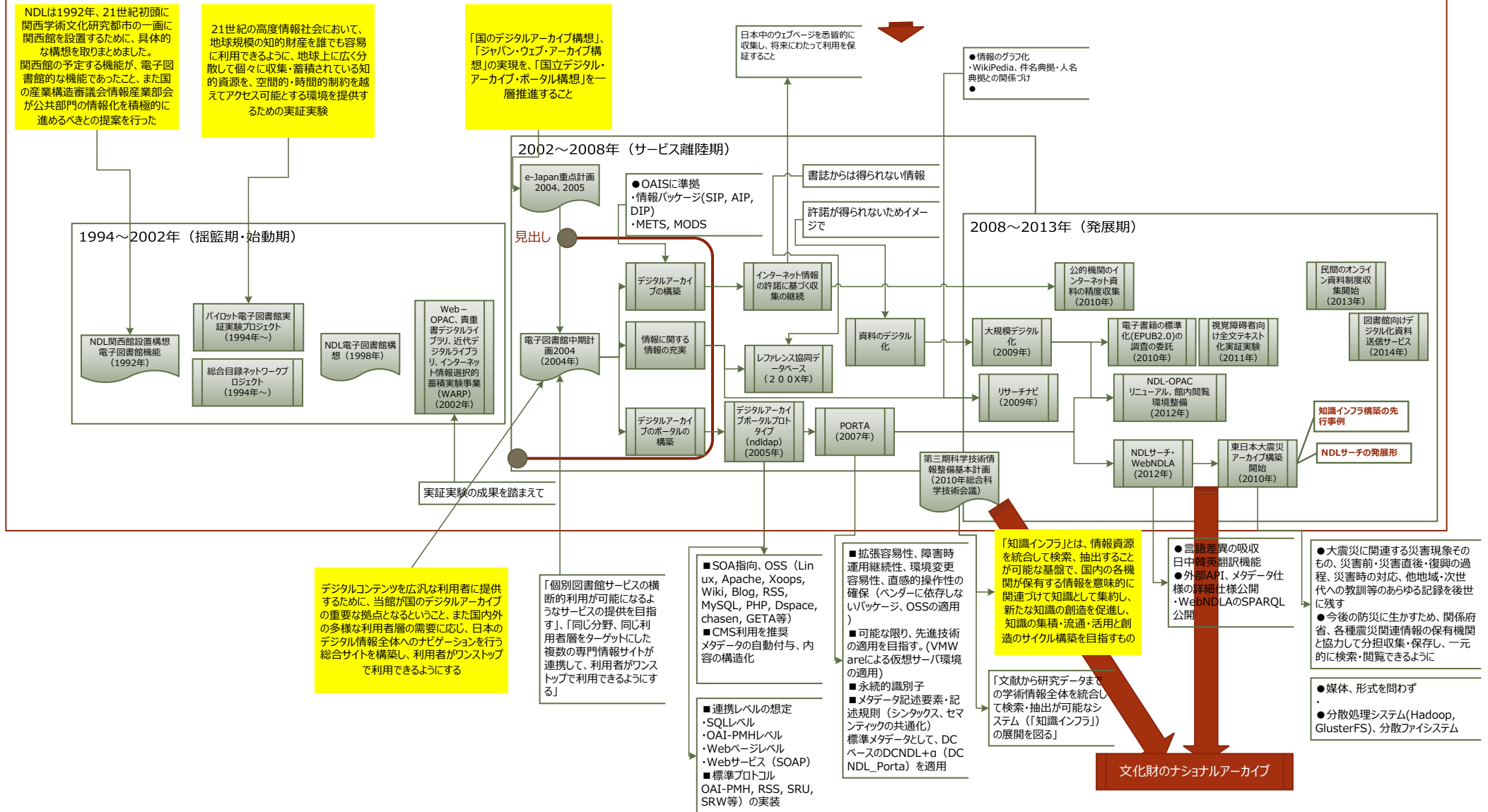


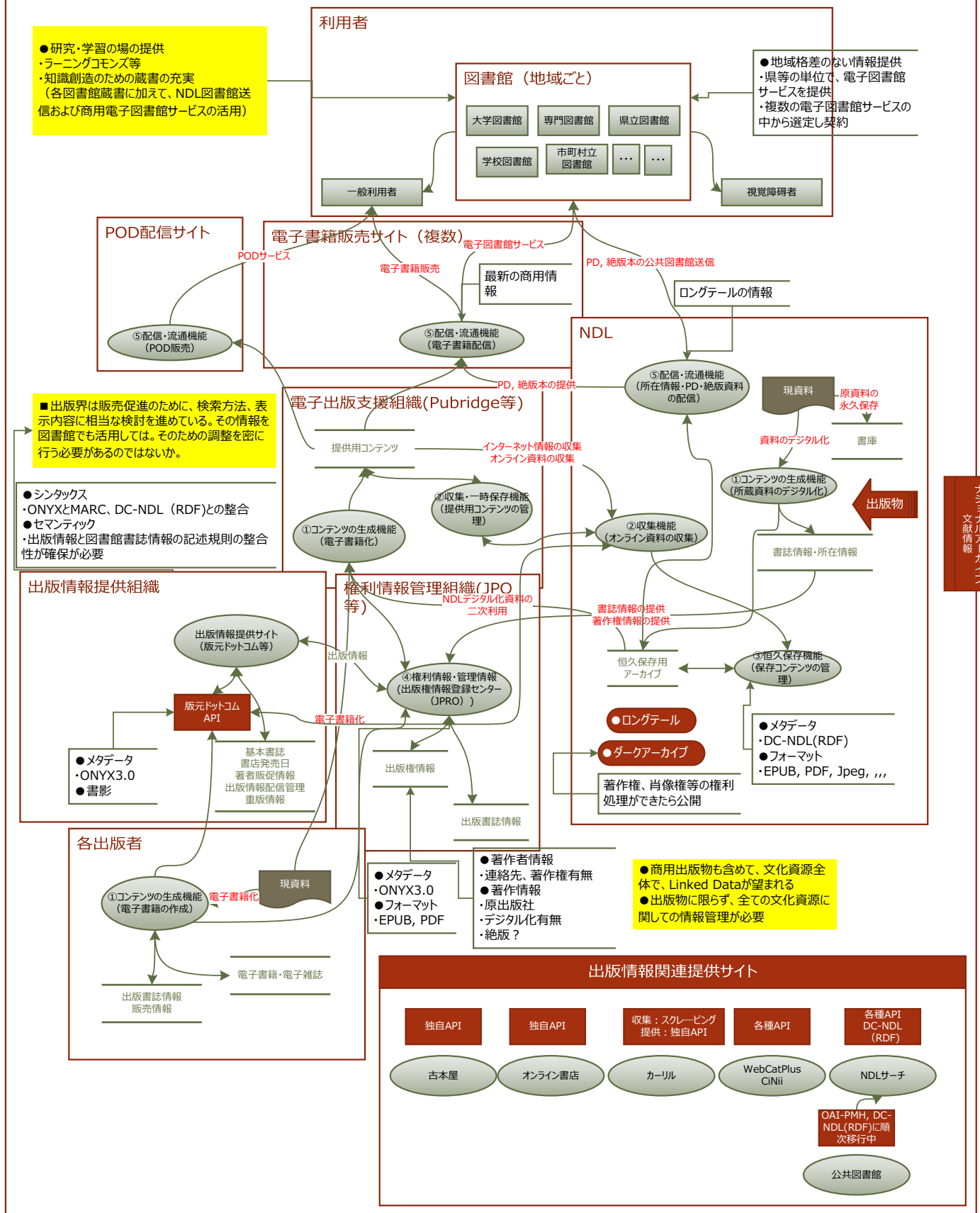
文化資源のナショナルアーカイブの方向性と、それを担う人材の育成



電子図書館20年の歩み



電子書籍のナショナルアーカイブイメージ (DFD)



「知的財産政策ビジョン」
(2013年6月7日知的財産戦略本部)
文化資産のデジタルアーカイブ化を推進する政策も含めて、今後10年を見据えた知的財産関連の政府の取組としての目標

知的財産計画2015
(2015年6月知財本部)

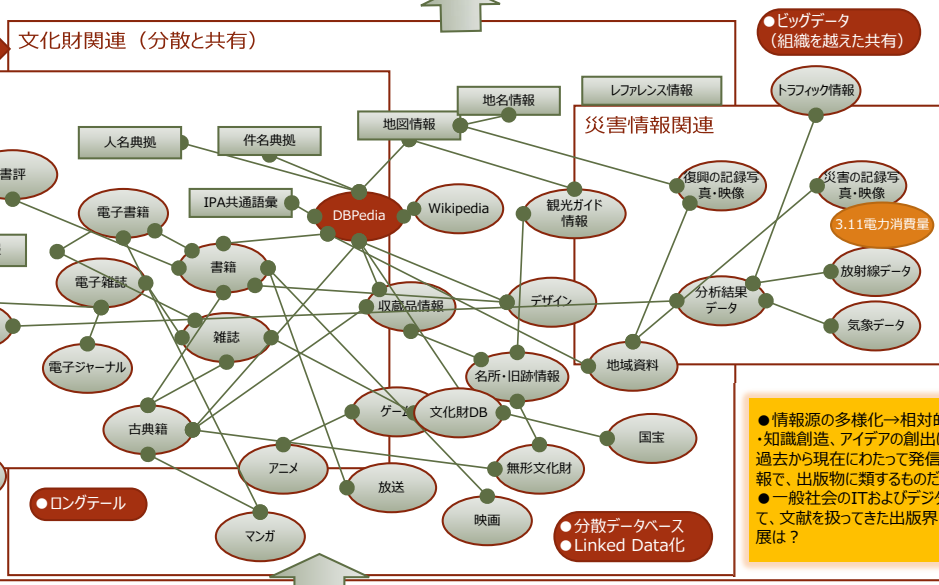
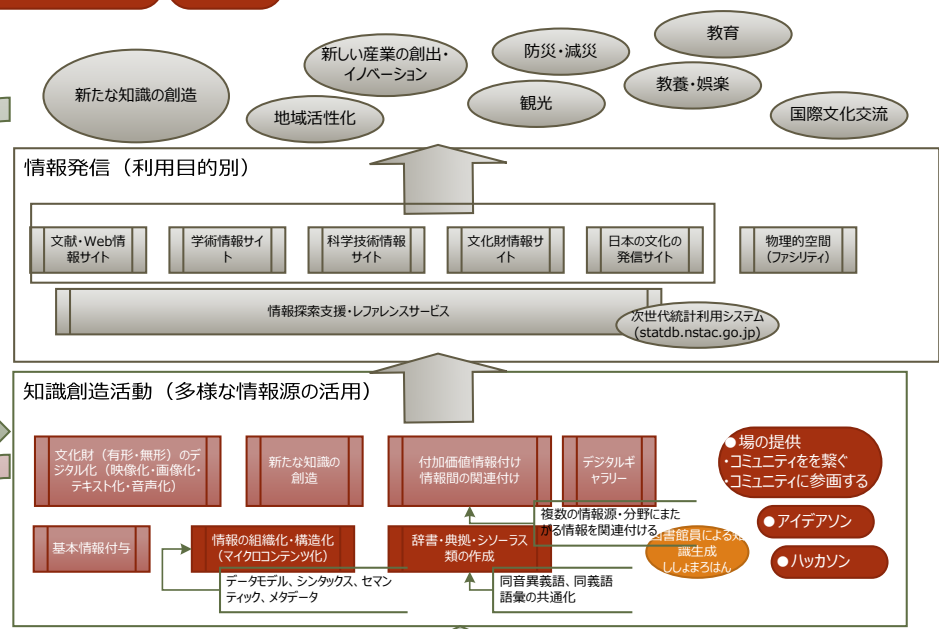
国の文化資源のアーカイブイメージ（知識インフラの実現形）

あらゆる情報を文化資産として将来にわたって保存し、利活用を保障する

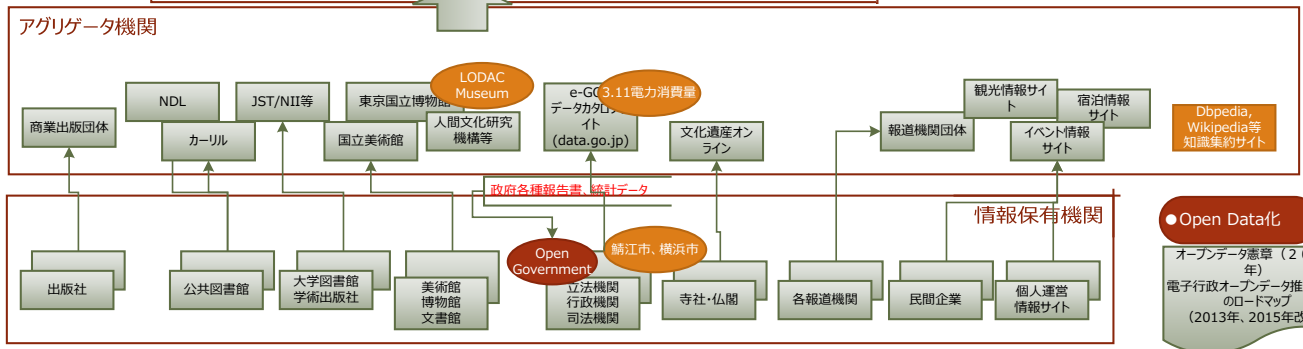
知識の再利用と新たな知識の創造

Digital Transformationの実現

●知識インフラの実現形
分野を越えた知識インフラの実現形として、あらゆる記録を情報として集約し、相互に関連付けて知識化し、将来にわたって利用を保障するとともに、「社会・経済的な価値を創出」できる「新たな知識の創造と還流」の仕組みを構築する

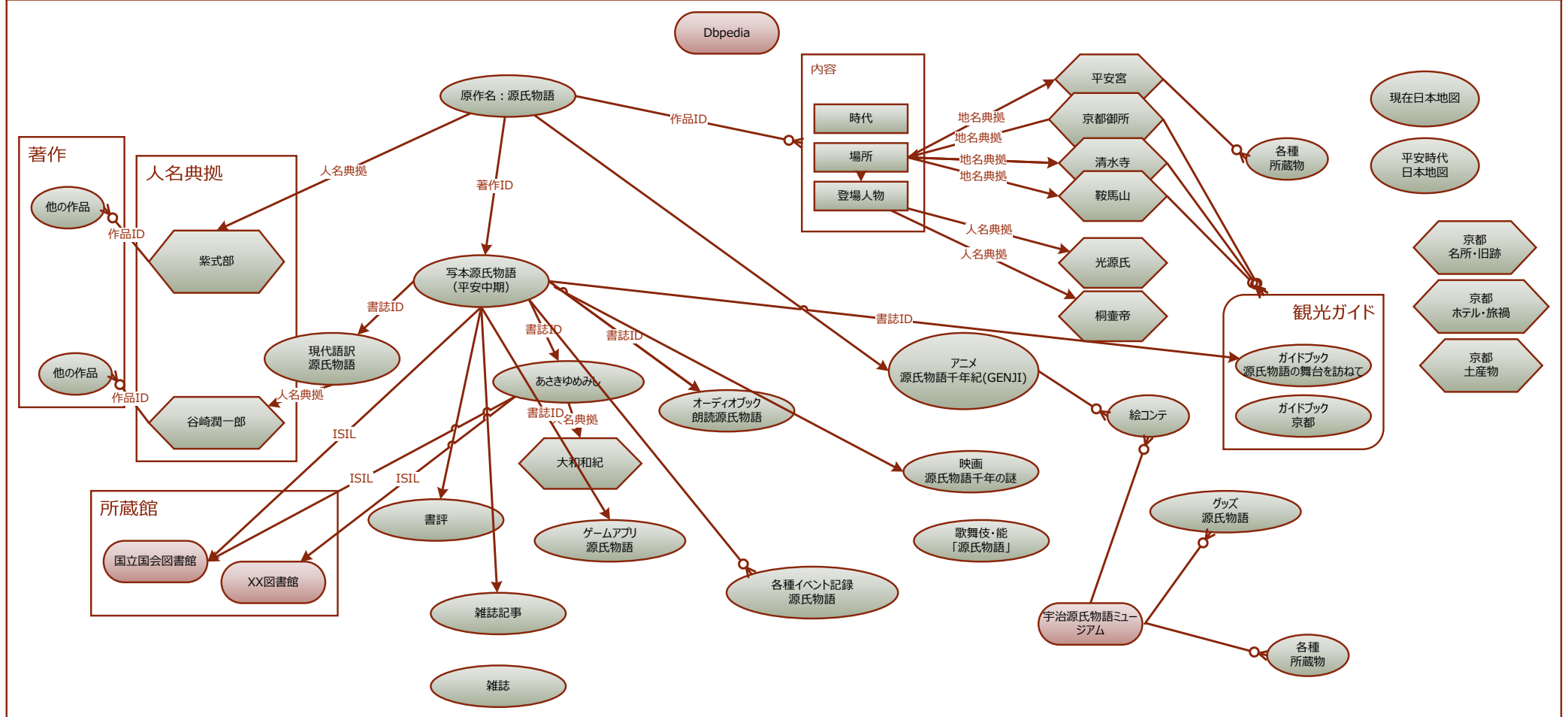


●情報源の多様化→相対的重要性の低下
・知識創造、アイデアの創出に役立つ情報は、過去から現在にわたって発信され続けている情報で、出版物に類するものだけではない。
●一般社会のITおよびデジタル活用に伴って、文献を扱ってきた出版界、図書館界の進展は？



●Open Data化
オープンデータ憲章（2013年）
電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ（2013年、2015年改訂）

関係付けるべきインスタンス

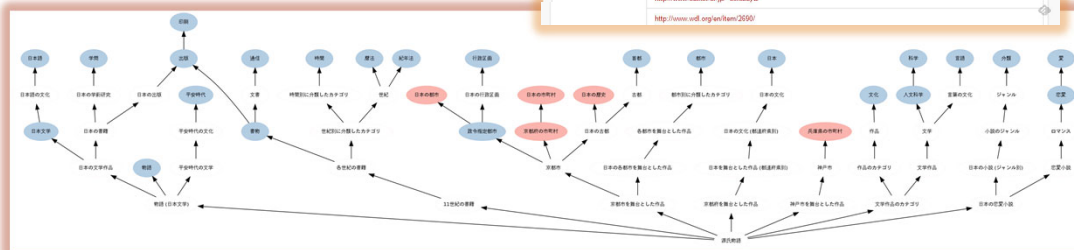
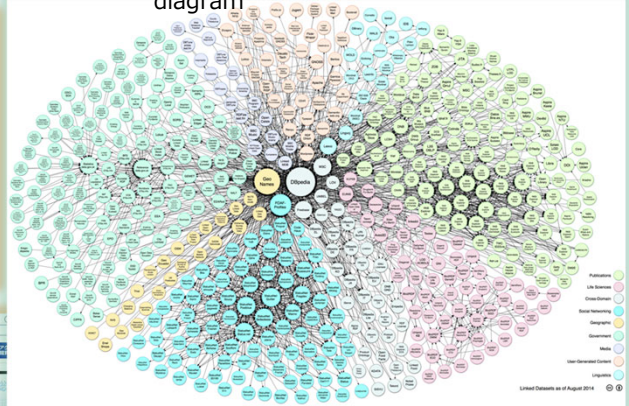


Linked Open Data化の推進

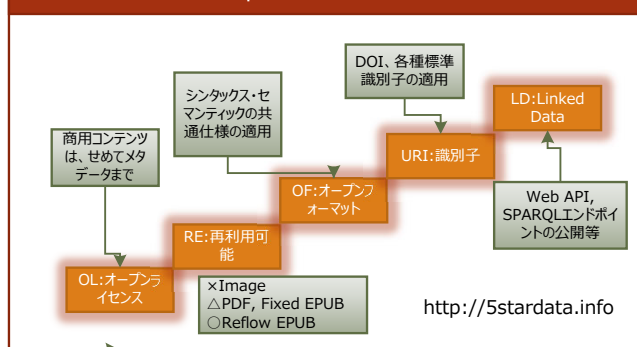


The Linking Open cloud diagram

<http://lod-cloud.net/>



Open Dataの定義

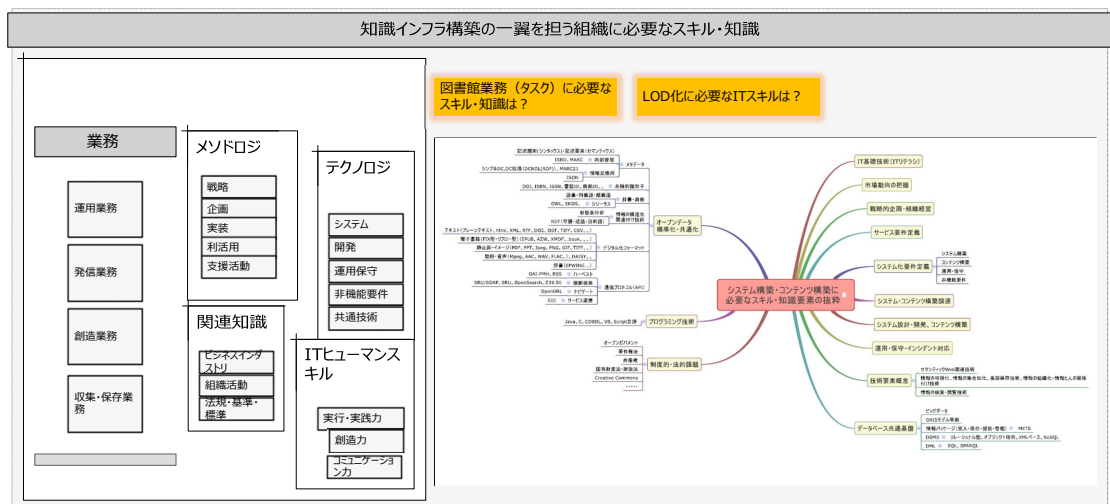
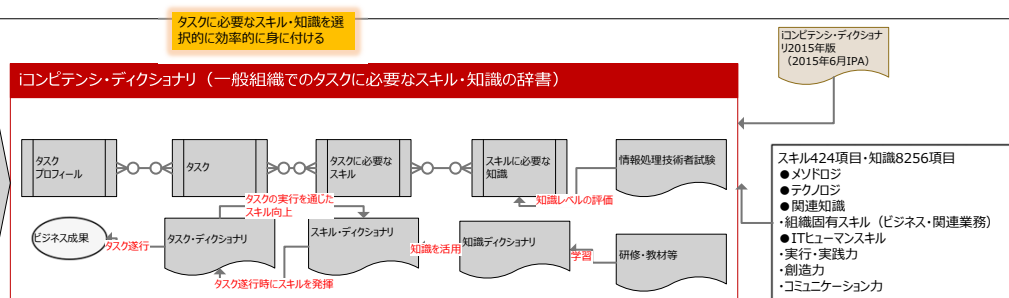
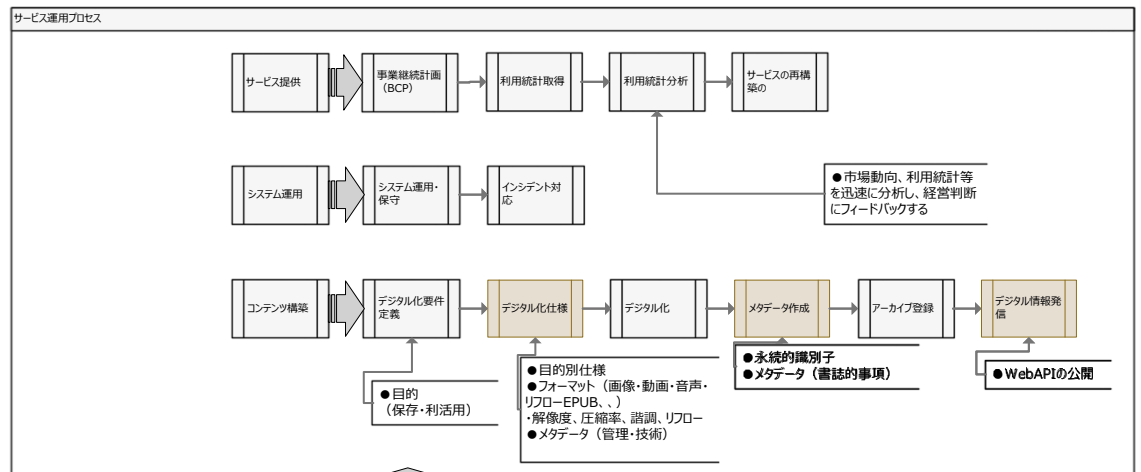
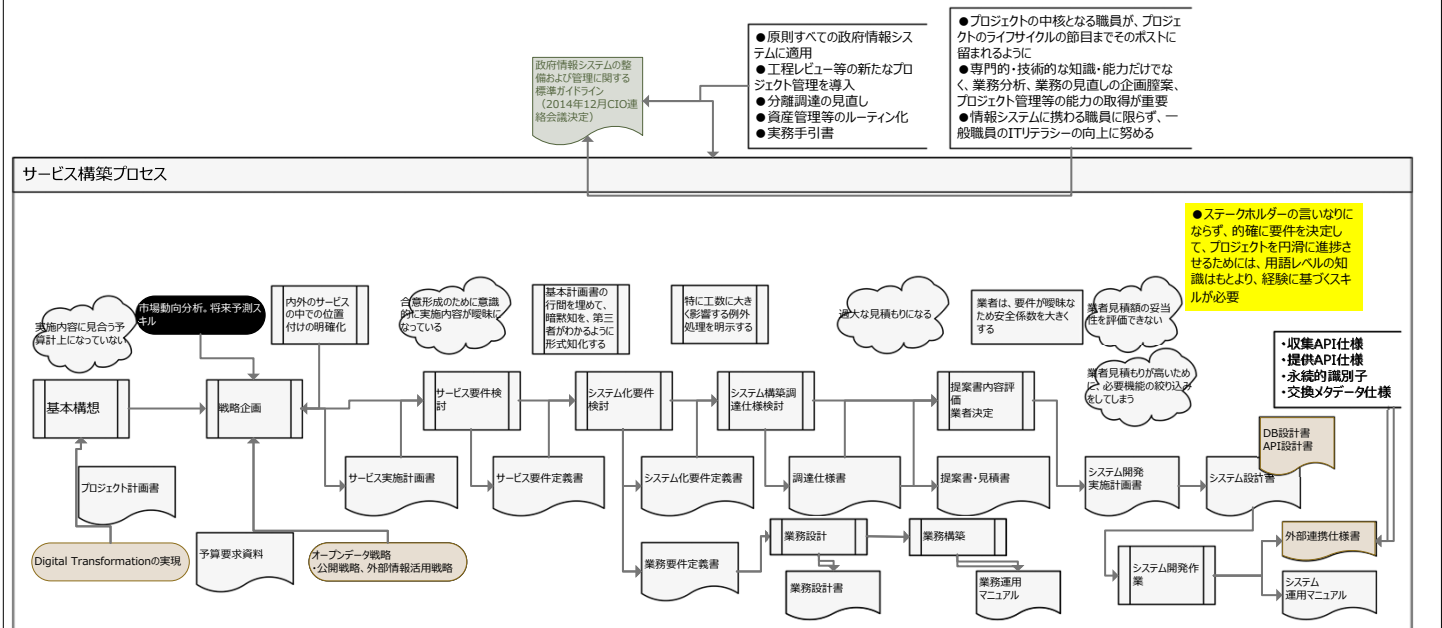


LOD化に必要なITスキルは？

- 例
- NDLサーチ
- WebNDLA
- CiNii
- Dbpedia

- コンセプト (NII大向先生)
- ウェブの方法論をデータ共有に活用
- ・識別子とリンク
- ・自由な参加
- 多様なデータの表現形式を一本化
- ・テキスト・表形式・ツリー形式...
- 既存のデータベースを活用する
- ・現在のウェブサービスは構造化されている
- ・概念の精緻化よりも今あるデータの関連付けを
- ・Web of DocumentからWeb of Dataへ

- LODの原則 (NII大向先生)
- Linked Data = ウェブ + RDF
- あらゆるデータの識別子としてURIを使用
- ・識別子にはHTTP URIを使用し、参照やアクセスを可能にする
- ・URIにアクセスされた際には、有用な情報を標準的なフォーマットで提供する
- ・データには他の情報源における関連情報へのリンクを含め、ウェブ上での情報発見を支援する



コンピテンシ・ディクショナリER図

